

県民の友

47.11 発行/和歌山県知事室広報課 和歌山市小松原通1の1



みんなで楽しく学ぼう!

豊かな生活のために——いろいろな勉強の場を利用しましょう

- 運動の好きな人はスポーツを
- 盆栽の好きな人は盆栽を
- こどもさんのある方は育児を
- 趣味に、自己創造に

世界中がめまぐるしいスピードで動いています。私たちが、この進展する現代を“楽しく、心豊か”に過ごすために、つねに生活に学習の機会を取り入れることが必要です。

要になってきました。

私たちのまわりには、次のような勉強の場が設けられています。みなさんの参加をお待ちしています。

高等学校開放講座
今年は次表のとおり各講座が開かれ、大勢の方が楽しく学習しています。来年も今年と同様に開講される予定ですから、各高等学校直接おたずねください。

現在、県下で七十一校が活動しているところです。

危险な食品、物価の値上がり、交通事故、ごみ処理、公害などくらしに直接関係のある問題を主婦が中心になって、学習をしたり、話し合いをしながら解決していくこうとするものです。

お問い合わせは、市町村役場か県事務所総務課へお願いします。

都市勤労青年文化教室
県下の都市部で働く青少年を中心とした現代のいろいろな問題をテーマに取り上げ、お互に考え、日常生活を自主的、創造的に送ってもらえるように、と今年から新しく開設されます。

第一回は、「グループの意義と活動のあり方」「友情と恋愛」などをおもなテーマとして、十月中旬から三日間（毎日午後六時から九時まで）、県立会福寺センターで開かれます。

宿泊は四十名、参加できるのは、企業内で働く青年で、性別は問いません。

受講されたい方は、県立青年局育成課へ所定の様式で申込んでください。受講料はいりません。

開設高校	対象	講座のテーマ
那賀高	(60才以上) 老入学園	趣味の園芸
吉備高	"	"
熊野高	"	趣味の農業
紀北工業高	一般婦人	電気の知識と実習
星林高	主婦、青少年	やさしい理科
下津女子高	一般婦人	豊かな家庭生活
箕島高	主婦、青少年	合唱のよろこび
田辺高	一般婦人	一般教養
古座高	一般成人	体力づくり
新宮高	"	やさしい書道

婦人学級
くらしの中で実践していく新市民運動などについて学習する市民生活学級、幼児のそだて方や円満な家庭づくりなどをテーマとする若妻学級、老後の生活設計、主婦と社会のつながりなどについて研修を行なっています。

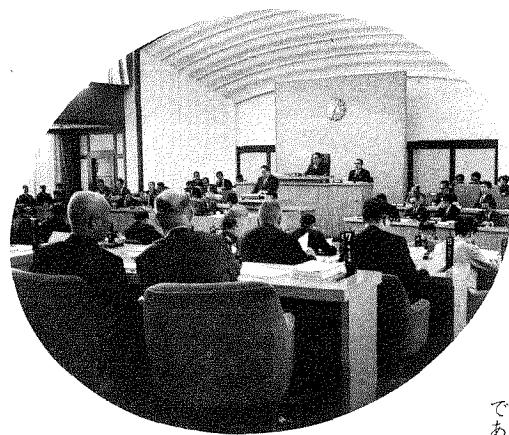
その他いろいろの学習
○ 勤労青年大学——毎年、夏季二十日間、青年団体のリーダーに必要な研修をしてています。
○ 青年学級、青年教室——各市町村で一般教養や職業に必要な学習を行なっています。
○ 家庭教育学級——各市町村において親たちが子ども教育に必要な学習をします。

○ 各種衛生教室——育児教室、栄養教室などがあります。
○ 社会通信教育——一人で、グループで、楽しく学べるいろいろな講座があります。また、母親クラブ、子供クラブ、PTA活動など学習のできる機会にはすんで参加しまし

9月定例県議会

中国との友好交流推進と 紀勢線の電化促進を決議

多様化する県政諸般に真剣な討議



九月二十六日から十月十二日まで十八日間になわたって開かれた九月定例県議会は、補正予算などの三十九議案を原案どおり可決、請願一二件を採択。厚生、国民年金制度改善についての意見書提出を議決、中国との友好交流推進と紀勢線の電化促進の決議を行ないました。

本会議におけるおもな質問と答弁は、次のとおりです。

(○印質問 ▽印答弁)

日本列島改造論と 長期総合計画

★生活環境、福祉を優先し 経済発展との調和をはかる

- 列島改造論に対する知事の基本的な考え方。また、従来の長期総合開発計画は、経済成長に重点が置かれていたが、今後の方針は、地帯別構想など県独自の立場は、国の押しつけを排し、守る。
- ▽ 過密と過疎の同時解消をはかるという基本的な点で賛成である。地帯別構想など県独自の方針は。
- 第一次長期総合計画では経済成長を第一に考えたが、第二次では環境との調和を計った。今後の構想は、生活環境、福祉を優先し、そのなかで経済成長を両立させる道を考える。福祉を進めるために経済発展は必要である。
- 工業再配置の誘導地域として本県の「にじみ出し地域」はどう指定されるか。
- ▽ 和歌山市、海南市、下津町岩出町、高野口町、有田市、串本町大島を除く地域を誘導地域にしたいとの連絡があり、県の要望が入れられる見通しである。
- 土地利用について地価の上昇が事業の実施をさまたげているが、長期的な利用計画はあるが、地価の規制は、法律にまことにならないが、開発公社による先行取得などを考えていく。
- 住友、丸善などの拡張計画は、公害を拡散されることになるいか。下請けなど中小企業に対するメリットは。
- ▽ 公害の防止や過疎化については十分検討する。下請けなど中小企業への対策についても強く要請していく。

★衛生問題

- 住友、丸善などの拡張計画は、公害を拡散することになるいか。下請けなど中小企業に対するメリットは。
- ▽ 公害の防止や過疎化については十分検討する。下請けなど中小企業への対策についても強く要請していく。

★農林問題

- 農業振興のため河川敷を草地利用に開放してはどうか。
- ▽ 紀の川、富田川、日置川、新宮川で十五ヘクタールが採草地として利用されている。なお



いのちと環境を守る対策

認めたのは衛生当局の見通しの甘さからではないか。

▽ し尿処理について和歌山市

当局に対し、陸上処理施設の整

備を強く指導しており、し尿投

棄船については、これを認めた

ことはない。

▽ 原発は、基本的に賛成であ

るが、地元の意見は率直に受け

とめる。原発の温排水は、夏期

には海水の温度を高め、漁場に

は不適となる。浅海漁場計画は

原発誘致を前提としたものでは

なく、自然保護についても國立

公園管理の関係方面とも協議し

ている。

○ 和歌山本港の汚濁はひどい

が、この対策は、和歌浦の景

観は、丸善の埋め立てにより悪

化するが、自然環境をどのように守るか。

▽ 本港汚濁は、内川の工場排

水、都市下水が原因であるが、

本の諭旨として、環境庁など関

係各省と協議して対策をたてる

よう努力する。

○ 枯木灘沿岸の松は、松喰虫

く、このままでは、ヘドロ八丁。

に変身する。対策は。

▽ 濁りの原因として、奥地の

開発と崩土が考えられるが、日

本の諭旨として、環境庁など関

係各省と協議して対策をたてる

よう努力する。

○ 濁りの原因として、奥地の

開発と崩土が考えられるが、日

本の諭旨として、環境庁など関

